



【先週 2月14日～2月20日の外食の出来事】

■ロイヤル過去最大の275億3200万円の最終赤字、双日などが240億円資金支援へ

ファミリーレストランロイヤルホストなどを運営するロイヤルホールディングス(株)は15日、2020年12月期の最終利益が過去最大の275億3200万円の赤字だったと発表した。双日を中心に240億円の資金支援を受ける。

■ヴィアHD、私的整理へ コロナで財務悪化受け

居酒屋チェーン中堅のヴィア・ホールディングスは、私的整理の一種である事業再生ADRの利用を第三者機関の事業再生実務家協会に申請し、受理された。新型コロナの影響で居酒屋の不振が続く、財務基盤が悪化していた。

■「天狗」テナアライド、売上47億で赤字35億 債務超過は回避中

「天狗」など居酒屋を展開するテナアライド株式会社が、2021年3月期第3Q(20年4月～12月)決算を発表。売上高47億1500万円、58.6%減。営業赤字35億1000万円と非常に厳しい状況となった。

■日本KFCの営業益最高 4～12月、持ち帰り・宅配好調

2020年4～12月期の連結営業利益が前年同期比35%増の57億円だったと発表した。同期間として過去最高となる。ドライブスルーを含め持ち帰りの需要が旺盛で、宅配サービスの強化も寄与した。

■アークランドサービスホールディングス、2020年12月期 通期の連結業績 増収増益

2020年12月期 通期の連結業績を発表。売上高386億3400万円(対前年同期比15.9%増)、営業利益45億3800万円(同1.2%増)、経常利益48億6800万円(同7.3%増)、当期純利益23億6600万円(同7.0%減)。

■エーピーカンパニー、米山社長やファンドから25億を調達 債務超過解消へ

株式会社エー・ピーホールディングスが、25億4000万円の第三者割当増資を行う。引き受け先は、りそな銀行のファンドなど2社で13億円、米山社長が10億円、オイシックス・ラ・大地株式会社が2億4000万円となる。

■ダイナック、サントリーがTOB 48億の債務超過で親会社乗り込む

サントリーが、株式会社ダイナックホールディングスに株式公開買付けTOBを行う。サントリーHDはダイナックHDの61.71%を所有し連結子会社としているが、今回のTOBにより完全子会社化して、抜本的な構造改革を推進。

■すかいらーく最終赤字 前期172億円、店内飲食が大幅減

2020年12月期の連結決算は、最終損益が172億円の赤字だった。新型コロナウイルスの感染拡大で来店客数が大幅に減少した。21年12月期は宅配の強化や固定費の削減で最終黒字を確保する見通し。

■コロワイド、第3四半期(2020年4月～12月)の連結業績 減収赤字

2021年3月期 第3四半期の連結業績は売上収益1251億2900万円(対前年同期比30.4%減)、事業損失83億8000万円(-)、EBITDA△25億8800万円(-)、四半期損失63億200万円(-)であった。